

大平地域包括支援センター 担当

- 日 時： 令和7年9月17日（水）午後1時30分～2時00分
- 開催方法： 栃木市役所大平総合支所 第3会議室
- 事例数： 1ケース
- 参加者数： 12名

事例提供者1名、助言者6名、サービス事業者1名
包括職員2名、傍聴者2名

膝の痛みやしびれがある 90 歳男性

〈目標〉1日：離床する。室内で足踏み器具を使い運動をする。

1年：足腰を鍛え自立した歩行移動を続け、身の回りの事ができる。

利用サービス：通所型独自サービス

《生活全般の解決すべき課題》

- ・ 安定した歩行がしたい。
- ・ 通所型サービスで利用者と交流し、気分転換をしたい。
- ・ 地域で交流を楽しみたい。
- ・ 入れ歯が合っていない。

《助言者からの助言内容》

- ・ 入れ歯の調整が必要である。歯科受診を促す方法として、パンフレットを活用して歯科受診が効果的であることを伝えていく。
- ・ 入れ歯を外して薬を飲むと誤嚥しやすいので、入れ歯をして服薬する。
- ・ 薬が飲み込めなくなってきたら、薬局に相談する。
- ・ 筋力を維持・向上するには、運動だけでは痩せ過ぎてしまうため食事にも気を付ける。
- ・ 膝の痛みには装具の活用や、前かがみにならないような歩行器の使用を検討する。
- ・ 入れ歯を治し、食事が摂れるようにして痩せることを防ぐ。
- ・ たんぱく質が不足すると疲れやすいので、しっかり摂取する。
- ・ 受診時の移動手段としては蔵タクが利用できるが、高齢者では登録や予約、時間調整等の支援が必要である。



歯科受診を促し、入れ歯の調整を行い、食事をしっかり摂れるようにして筋力低下を予防する。



☆地域課題（地域に不足、再構築を図りたい支援・サービス等）

- ・ 蔵タクは、高齢者には利用が難しい。手続き等を行う支援者や簡単に利用できる移動手段があると良い。